

早期景気観測調査

【2-3 月期 調査結果概要報告書】

令和3年4月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和3年3月15日(月)～3月31日(水)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 93件
7. 有効回答率： 70.5%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2-3月期の動き】

**全体業況は▲44.1と2期振りの改善。
向こう3ヶ月の業況は▲11.8と大きく改善の
見通しだが、実態はほぼ横ばい。**

2-3月期の全業種総合の業況DIは、▲44.1（前期比19.3ポイント増）と2期振りの改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況も、改善する見通し。ただし、悪化から不変への変化が主因なため、実態はほぼ横ばい。

業種別では、全ての業種が改善となった。

製造業の業況DIは▲33.3（前期比4.8ポイント増）と3期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは▲37.5（前期比12.5ポイント増）と改善となった。

○改善⇒売上DI、従業員DI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

卸売業の業況DIは▲52.6（前期比23.6ポイント増）と5期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは▲28.6（前期比36.4ポイント増）と改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

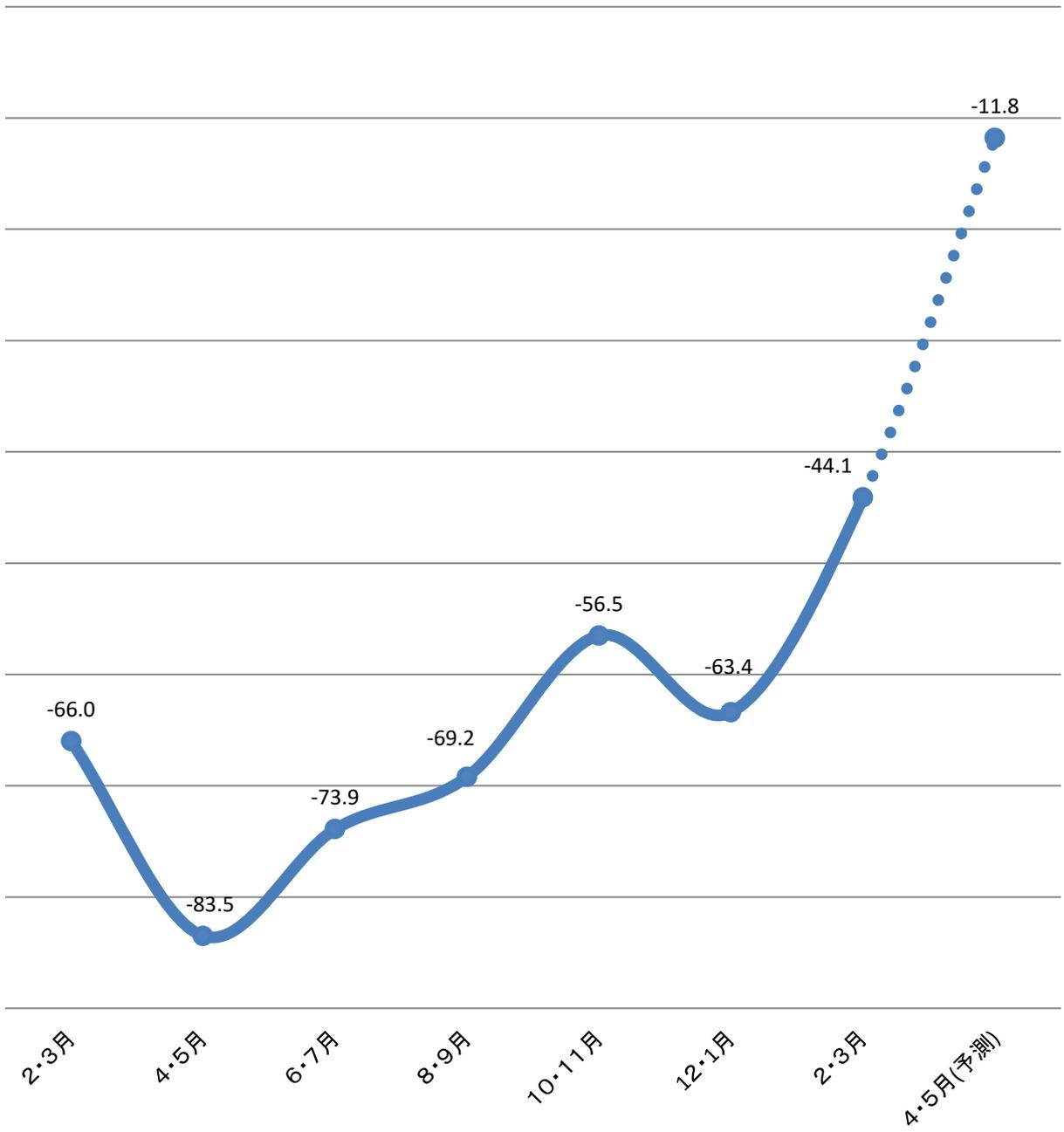
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは▲75.0（前期比18.3ポイント増）と改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI ○悪化⇒金融貸出しDI

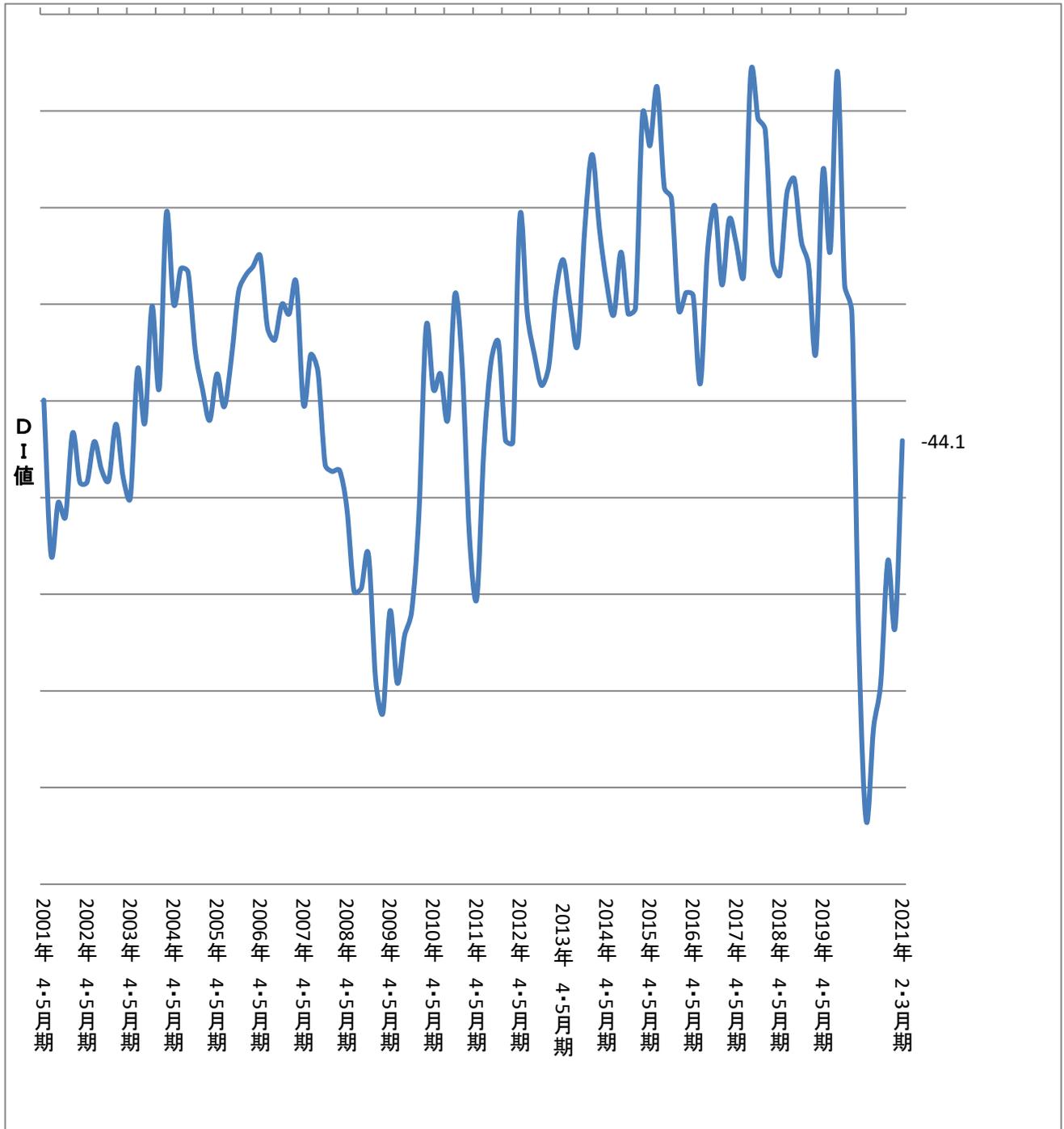
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2021年2・3月期)

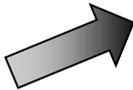
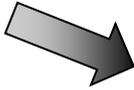


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

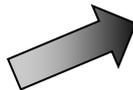
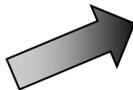
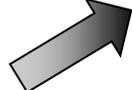
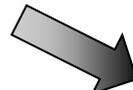
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲44. 1	▲11. 8	▲35. 5	▲39. 8	▲31. 2	5. 4	0. 0

2－3月期の全業種総合の業況D I は、▲44. 1（前期比19. 3ポイント増）と改善となった。

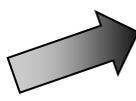
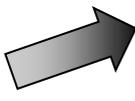
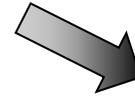
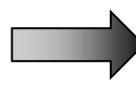
項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲61. 3→▲35. 5）、採算D I（▲58. 1→▲39. 8）、
従業員D I（▲2. 2→5. 4）

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（5. 4→0. 0）、仕入れ単価D I（▲12. 9→▲31. 2）
向こう3ヶ月の先行き業況は、▲11. 8と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

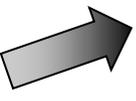
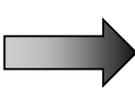
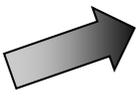
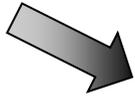
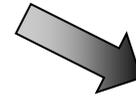
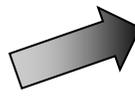
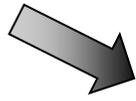
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲33.3	▲9.5	▲23.8	0.0	▲28.6	▲4.8	0.0

業況DIは▲33.3（前期比4.8ポイント増）と3期連続の改善となった。

項目別

- 3期連続改善⇒売上DI（▲42.9→▲23.8）、採算DI（▲28.6→0.0）、
 - 今期より悪化⇒仕入単価DI（▲9.5→▲28.6）、従業員DI（9.5→▲4.8）
 - 3期連続横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲9.5と改善する見通し。

建設業

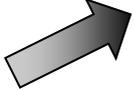
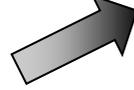
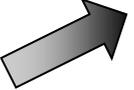
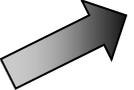
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲37.5	▲37.5	▲31.3	▲50.0	▲56.3	31.3	0.0

業況DIは▲37.5（前期比12.5ポイント増）と改善となった。

項目別

- 今期より改善⇒売上DI（▲50.0→▲31.3）、従業員DI（18.8→31.3）
 - 今期より悪化⇒金融貸出しDI（6.3→0.0）
 - 2期連続悪化⇒採算DI（▲43.8→▲50.0）
 - 3期連続悪化⇒仕入単価DI（▲43.8→▲56.3）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲37.5と横ばいの見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲52.6	▲5.3	▲36.8	▲63.2	▲42.1	5.3	0.0

業況D Iは▲52.6（前期比23.6ポイント増）と5期連続の改善となった。

項目別

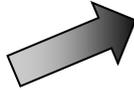
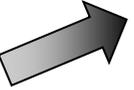
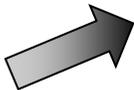
○今期より改善⇒売上D I（▲71.4→▲36.8）、採算D I（▲76.2→▲63.2）、

従業員D I（0.0→5.3）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（14.3→▲42.1）、金融貸出しD I（14.3→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲5.3と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲28.6	▲9.5	▲14.3	▲19.0	▲23.8	9.5	4.8

業況D Iは、▲28.6（前期比36.4ポイント増）と改善となった。

項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲60.0→▲14.3）、採算D I（▲55.0→▲19.0）、

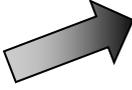
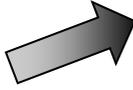
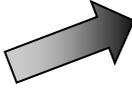
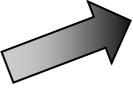
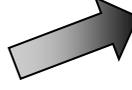
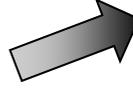
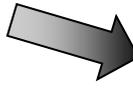
従業員D I（▲5.0→9.5）

○2期連続改善⇒金融貸出しD I（0.0→4.8）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲5.0→▲23.8）

向こう3ヶ月の業況は、▲9.5と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲75.0	0.0	▲81.3	▲81.3	▲6.3	▲12.5	▲6.3

業況D Iは▲75.0（前期比18.3ポイント増）と改善となった。

項目別

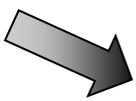
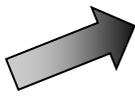
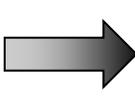
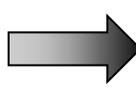
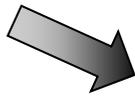
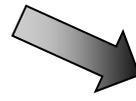
○今期より改善⇒売上D I（▲86.7→▲81.3）、採算D I（▲93.3→▲81.3）、
仕入単価D I（▲33.3→▲6.3）、従業員D I（▲40.0→▲12.5）

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（6.7→▲6.3）

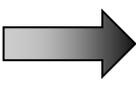
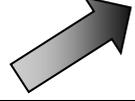
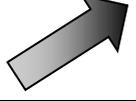
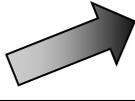
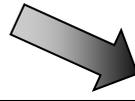
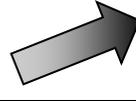
向こう3ヶ月の業況は、0.0と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

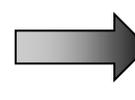
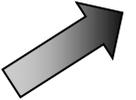
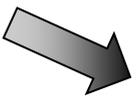
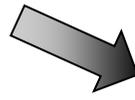
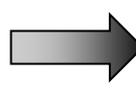
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

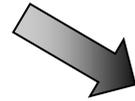
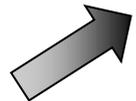
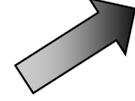
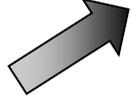
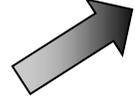
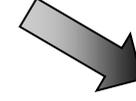
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

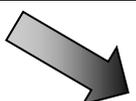
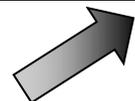
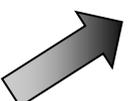
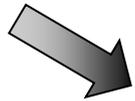
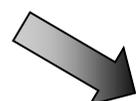
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

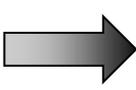
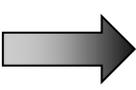
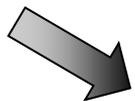
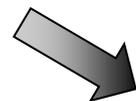
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

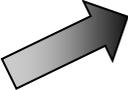
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

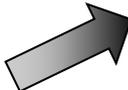
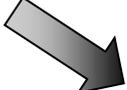
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

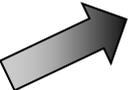
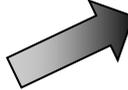
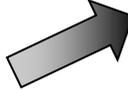
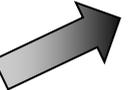
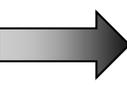
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

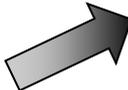
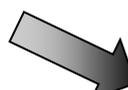
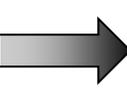
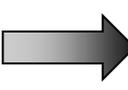
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

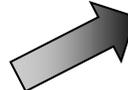
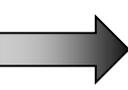
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

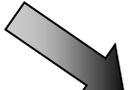
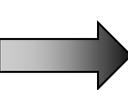
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

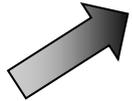
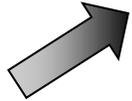
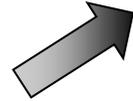
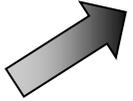
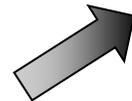
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

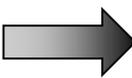
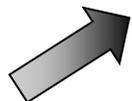
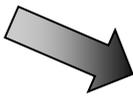
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

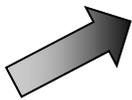
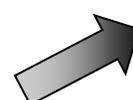
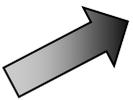
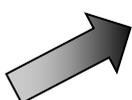
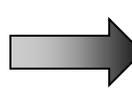
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

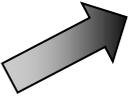
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・東京の売上が大きい分、首都圏の緊急事態宣言が大きく影響。輸入原料仕入単価の上昇も含めて、厳しい状況が続いている。

製造業（工業製品）

- ・2021年2・3月の売上は前年同期と同レベルに戻り、採算については出張費や飲食費等がコロナ禍で減少し、前年同期と比べて好転した。

製造業（宝飾）

- ・現在も催事関係のキャンセルが続いている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・仕入れ単価の上昇を販売価格に転嫁できず、一層厳しくなっている。
- ・全体的に業績は厳しいが、明るい見通しも出来ている。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事が減少。民間工事は安値受注が多い。

建設業（土木）

- ・鋼材など一部単価が上昇していることに加え、民需案件の減少に伴う競争激化や、恒久的人材不足もあり、コスト高になりつつある。
- ・技術者が不足しているため、人材を確保しようと考えれば、企業としての資金の負担が過剰になるので、小さい会社では今後一段と厳しくなると考えられる。

建設業（鉄鋼）

- ・輸入原料は高値安定。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・昨年好調だったため、ダウン傾向になると考えられる。

小売業（食品）

- ・客単価は少ないが、客数が上昇している。

小売業（趣味・日用品）

- ・コロナの影響が出て1年で、売上が悪いことが新しい日常となりつつある。

【サービス業】

サービス業（観光）

- ・コロナ禍が長期化した影響により、貸切バスの需要減少が続いている。

サービス業（飲食その他）

- ・例年 3～4 月は歓送迎会のシーズンだが、コロナの関係で昨年同様思わしくなく、4 月からの景気上昇に期待。

以上